

若者等活動拠点施設に係る景観町並保存連合会 保存会長会との意見交換会 結果報告

日時 平成30年9月11日(火) 19:00～19:25

場所 飛騨高山まちの博物館 研修室

出席者 景観町並保存連合会保存会長
高山市(企画課2名、都市計画課4名、文化財課1名)

内容

【主旨概要】

- ・ H29.12.14 開催の保存会長会に「若者等活動拠点施設整備事業」の概要説明、意見交換を行って以降、公募市民による検討会、地元住民等との意見交換を重ね、整備の方向性をとりまとめた
- ・ 議会報告、パブリックコメント、改修工事の詳細設計などを今後進めるにあたり、保存会長会に経過等を報告するとともに、意見交換などを行ったもの
- ・ 特段の反対意見などは聴かれず、概ね了承いただけたと考える

【主な意見交換】

Q.主屋の建築年は？

A.明治8年大火の直後と聞いている

Q.主屋は伝統建築の趣を残してもらいたい。事務所等に使われることで、壁の仕上げや床は変わるのか？

A.貴重な紙床は構わない。耐震壁を入れる壁の仕上げも復元を基本とする。床・畳は傷んだ箇所を修復し元に戻す

Q.建物の外側はどうか？

A.傷んだ箇所を直し、復元する

Q.飛騨高山まちの博物館、飛騨高山まちの体験交流館も似た機能を有するが、学生向けだったり、小規模な施設を作ることか？

A.規模で言えば、通常20～30人程度の利用を考慮しており、100人を超えるような大人数は想定していない

Q.事業費はどれくらいか？

A.土地建物の取得で2億円弱、整備費は算定中だが1～2億円を想定している

Q.管理人は置くのか？

A.開館時間中は常駐させることを考えている

Q.まゆ倉庫については、ただの倉庫としてはなく、当事の主要産業であったまゆが扱われた歴史が分かるような整備を考えているか？

A.まゆ市場であった当時に復元するようなことはしないが、歴史紹介の説明板を付けるなど考えていきたい

Q.郷土料理等と記してある主旨は？

A.店舗などではなく、台所を使って郷土料理の研究や試食などできる施設として整備したいもの

Q.まゆ倉庫入口の大きな吊り戸はどうするのか？あのままでは防音対策が困難と思われる

A.外観は維持し、周辺的生活環境への配慮のため、内側に新たに部屋を設けることなどを含め検討している

Q.読書、学習と記してあるが、図書館のように本を並べるのか

A.はじめから書架や図書をずらりと並べず、使いながら要望に応じて変えていけるようなことを考えている

Q.地元の人には使えるのか？

A.勿論使ってもらいたい

Q.高山祭の舞台ともなると説明があったが、祭の拠点が集約されている都市もあるなか、高山祭の拠点が細分化される懸念を有していることを意見する

以上